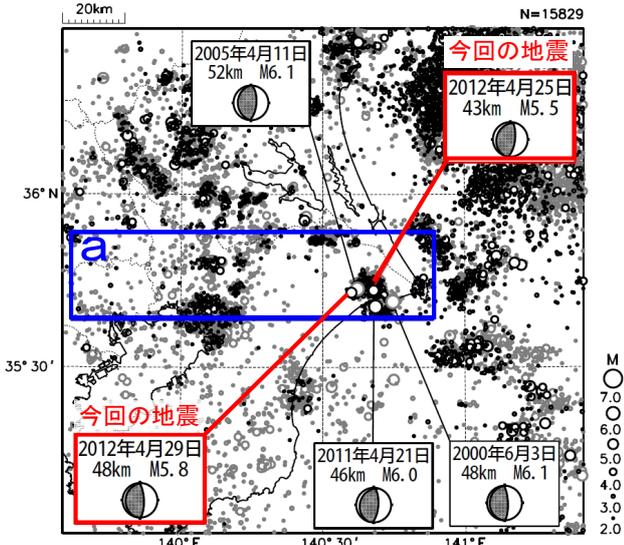


4月25日、29日 千葉県北東部の地震

4月25日に発生した地震の情報発表に用いた震央地名は「千葉県東方沖」である。

震央分布図（1997年10月1日～2012年4月30日、
深さ30～90km、 $M \geq 2.0$ ）
2011年3月以降の地震を濃く表示。

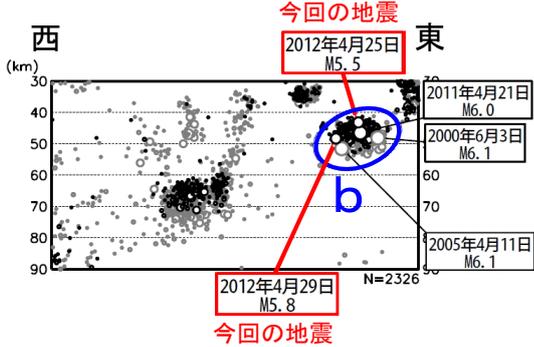


2012年4月25日05時22分に千葉県北東部の深さ43kmでM5.5の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと太平洋プレートの境界で発生した地震である。

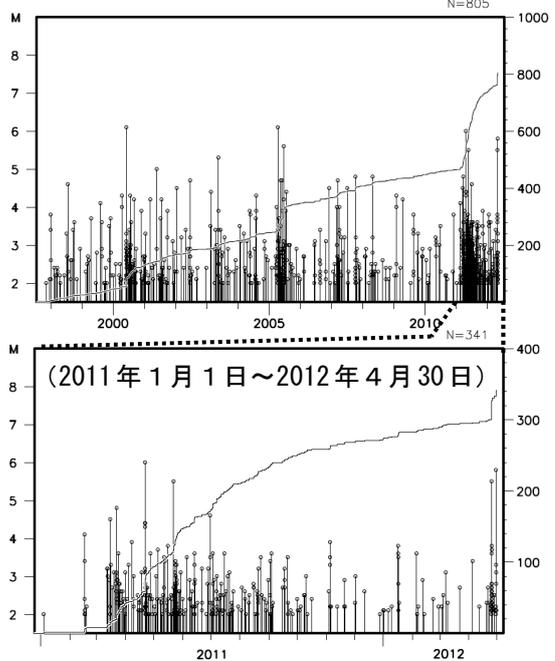
また、4月29日19時28分に千葉県北東部の深さ48kmでM5.8の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと太平洋プレートの境界で発生した地震である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）は、普段から地震活動のある領域である。2011年3月から活動がより活発になってきたが、その後、今回の地震の発生まで徐々に減衰していた。

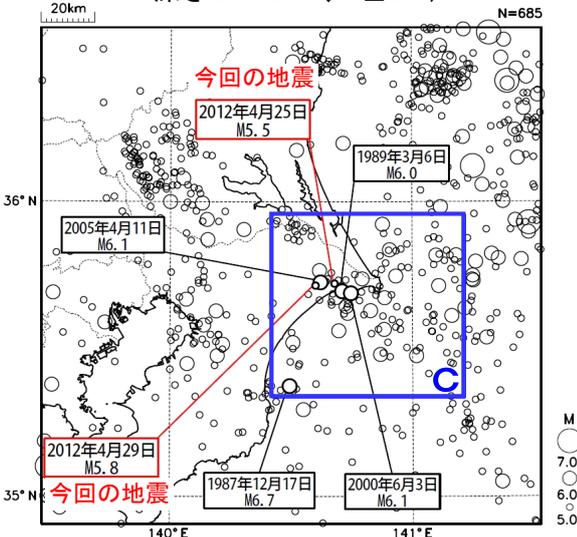
領域aの断面図（東西投影）



領域b内のM-T図および回数積算図



震央分布図（1923年1月1日～2012年4月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$ ）



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域c）は、M6.0以上の地震が時々発生しており、そのうち、1987年12月17日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、一部破損7万余などの被害が生じた（理科年表による）。

領域c内のM-T図

